

1 スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの策定状況について

(1) スクール・ミッションの策定

検討中

(2) スクール・ポリシーの策定

- ・ 今年度、スクール・ミッションの再定義に先行してスクール・ポリシーを策定することとする。その際、第2期宮城県教育振興基本計画と連動させ、各高等学校の校訓、歴史や伝統、設立の経緯、現在地域等で果たしている役割等を踏まえて策定する。(別紙資料参照) そのため、原則、令和4年度から令和8年までの5年間を対象期間とする。
- ・ 様式(参考資料)にある「★宮城県〇〇高等学校が地域社会で目指すもの」の欄は、第2期宮城県教育振興基本計画、各高等学校の校訓、歴史や伝統、設立の経緯、これまで各校が実践してきた教育活動等を踏まえて、現在、各校が地域社会で果たしている役割を整理し、記載することとする。「★宮城県〇〇高等学校が地域社会で目指すもの」は各高等学校の課程単位で作成することが望ましいが、実情に応じて学科ごとに作成しても構わない。現在も各高等学校では様々な教育活動をとおして期待される社会的役割を果たしているものと考え、今回の「★宮城県〇〇高等学校が地域社会で目指すもの」は、その役割が見えるように言語化するものである。よって、現在、各高等学校の果たしている社会的役割を一新するような内容を求めているものではない。
- ・ グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーは、令和4年度入学生の教育課程編成に関して各高等学校で検討してきたことを踏まえて作成する。令和5年度高校入試における「求める生徒像」(宮城県公立高等学校入学者選抜資料)は、三つの方針を踏まえて作成することとなる。

(3) スクール・ポリシーの策定に係るスケジュール

令和3年	2月	令和4年度入学生に係る教育課程の仮提出(新学習指導要領に基づく)
	4月	第1回校長会で説明
	5月	教務主任連絡協議会で説明 スクール・ポリシーの策定に係る通知
	6月	令和5年度高校入試「求める生徒像」作成に係る通知 令和4年度入学生に係る教育課程の提出
	8月	教育課程研究集会 スクール・ポリシー仮提出
令和4年	1月	令和3年度の学校評価等を踏まえた最終調整
	2月	スクール・ポリシー本提出
	3月	公表

(参考資料)

宮城県〇〇高等学校 [全日制課程 (〇〇科)] のスクール・ポリシー (例)

★宮城県〇〇高等学校が地域社会で目指すもの

本校は「文武不岐・自主自律」を校訓とし、3年間のキャリア教育をとおして新しい時代の産業界を担う地域人材の育成を目指します。生徒には特別活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し、教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画し、地域貢献する学校として歩みます。

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 生涯にわたり主体的に学び続け、積極的に社会参画する人間力を育成します。
- 産業界であらたな社会を創造するための技術力・実践力を育成します。
- 社会の課題を自ら発見する力と課題解決のための科学的な思考力や探究心を育成します。

<人間力> 誠実な取組, 他者との協働・調和, 礼節

<技術力> 社会に貢献できる専門性, 他の分野を融合させる柔軟性

<実践力> 自ら考え, それを表現・実行し, 結果を踏まえて改善する力

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と専門教科の両方を重視します。
 - 普通教科では社会で生きる基礎力を, 専門教科では確実な技術力を養います。
- 教科横断的な学びや地域と協働した学びにより, 探究的な学びを進めます。
 - 地域社会が抱える諸課題について教科横断的に取り組み, 〇〇町の抱える課題を自ら設定し, その解決策を模索します。
- 習熟度別の授業や多様な選択科目の設定し, 個の適した学びを実現します。
 - 生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施するとともに, 多岐にわたる生徒の進路希望実現する多様な選択科目の設定を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 本校で学ぶ理由が明確で, 日々の授業や課外活動に自律的に取り組む生徒
- インターシップ等の体験活動やボランティア活動に積極的に取り組むなど, 地域社会に貢献できる生徒
- ▲▲に対する興味関心が高く, 専門的な知識や技能の習得や資格取得に積極的な生徒
- 好奇心や探究心が旺盛で, 能動的に探究活動に取り組む生徒
- 中学校時代に部活動や校外の諸活動で優れた能力を発揮し, 入学後も継続して活動する意欲のある生徒

2 高等学校の特色化・魅力化に向けた取組等について

(1) 高等学校「志教育推進事業」研究指定校事業

イ 「志教育」研究推進事業

①事業の目的

人間の生き方や社会の在り方を改めて見つめ直させた震災の経験を踏まえ、高校生が、自ら社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、より良い生き方を目指し、その実現に向かって意欲的に物事に取り組む姿勢を育む「志教育」を推進するための各種実践を先進的に行う高等学校を指定し、研究、推進体制の充実を図るとともに、その成果を県内に広げる。

②指定校の種別と取組内容 (指定校数)

○地区指定校 (2校程度)

「志教育支援(推進地区指定)事業(義務教育課所管)」に指定された高等学校の中から、指定地区内の小学校、中学校と連携して、さらに独自の「志教育」に係る取組の研究を行う場合に指定する。募集については、後日別途通知する。

○学校設定教科・科目研究協力校 (2校程度)

「志教育」に関する学校設定教科・科目を教育課程に位置付けるなどして「志教育」を推進する実践研究を行う高等学校を指定する。

○普通科におけるキャリア教育研究推進校 (3校程度)

普通科におけるキャリア教育の充実を図ることで、「志教育」を推進する実践研究を行う高等学校を指定する。

○普通科における専門教科導入研究校 (1校程度)

普通科における職業に関する専門教科の積極的な導入を図ることで、「志教育」を推進する実践研究を行う高等学校を指定する。

ロ 「志教育」情報発信事業 ～みやぎ高校生フォーラム」の開催～

①事業の目的

各校における「志教育」、地域貢献活動、団体や個人での各種専門的活動の実践事例等を発表し、情報を共有することで、高校生一人一人が自ら社会で果たすべき役割を考える機会とし、「志教育」の一層の推進とみやぎの復興に貢献する人材の育成を図る。

②開催内容

○令和3年度開催内容(オンライン開催)

- ・「各校の志教育の取組」「地域貢献活動発表」「意見発表」の動画をWeb上で公開

○令和2年度開催内容(オンライン開催)

- ・各校の志教育の取組について7分間の動画を作成し、Web上で公開

○令和元年度開催内容(宮城県庁講堂等)

- ・ポスターセッション(県立高校全校) ・地域貢献活動発表(代表校2校)
- ・意見発表「私の志」(代表校2校)
- ・パネルディスカッション「未来を紡ぐ私の志」(県内高校生代表5名)

ハ みやぎ高校生マナーアップ運動推進事業

○マナーアップフォーラムの開催

高校生が、いじめ問題やマナー向上について意見を交わし、話し合いを深めることで、一人一人の課題意識を高め、各校におけるHR活動及び生徒会活動の充実を

図る。

○マナーアップ運動の啓発活動

マナーアップに係るキャッチフレーズや原画の作成を通して、高校生がマナーや人権について主体的に考える機会を設ける。

○マナーアップキャンペーンの実施

関係交通機関と連携し、高校生の公共交通機関の利用マナー等の向上を図るとともに、高校生がマナーアップについて情報を発信する場を設けることで、広く県民にもマナーアップを呼びかける。

(2)「地域と連携した高等学校魅力化事業」地域とともに作る魅力ある県立高等学校支援事業

①事業の目的

地域パートナーシップ等による地域と学校の連携により、両者が協働して、これからの地域社会を担うために必要な資質・能力の育成を図るため、地域の教育資源を十分に活用した実践的な魅力ある教育委活動及びその取組を学校評価によるPDCAサイクルにより評価改善するという体制づくりを支援することで、社会に開かれた教育課程という趣旨の実現を図り、地域社会の期待に応える魅力ある学校づくりに資する。

②テーマ設定

次のA、Bの2つのテーマから1つ選び、1年間を通して取組を行うこととする。

A 地域に根差した開かれた学校づくり

地域等の諸課題の解決に取り組む等、生徒が学びたくなり、地域に根差した開かれた学校づくりを展開している高校を指定し、地域パートナーシップ会議等により地域資源を活用しながら、学びの意義や自己の役割に対する認識を深める教育プログラム等の工夫について支援する。

B 生徒が学びたくなる学校づくり

協働的な学びを通じて、生徒が学びたくなる学校づくりを展開しようとする高校を指定し、不登校傾向にある生徒等の自己有用感を高めるための地域と連携した体験的、実践的な学びの工夫について支援する。